

令和4年度 梓川公民館関係役員名簿

町会	町内公民館長	子ども会育成会長
八景山	○ 金井 深	岸田 望
花見野	齋藤 秩實	中村 直久
上野丸	斎藤 政人	輪湖 秀敏
上立田	斎藤今朝義	小竹 利夫
下立田	武田 繁	小松 信一
杏	保科 正則	西牧 清水
こまち	倉田 貞良	上嶋 寿夫
角影台	越 啓俊	百瀬 晃
上角	吉田 茂樹	村上 仁志
下角	(理) 原口 邦彦	下林 修
小室	(理) 丸山 隆	小林 弘幸
北々条	櫻井 広光	◎ 丸山 憲一
南北条	水上 勝利	○ 八劔 淳
大久保	丸山 政則	(監) 西村 順典
北大妻	長瀬 隆浩	(監) 水谷 成利
上大妻	西村 勝匡	宮坂 功美
南大妻	◎ 内山 仁	小嶋 泉
横沢	降旗 正直	佐久間邦夫
氷室	福嶋 寛人	百瀬 徹
岩岡	市田 政男	猿田 年保
	細田 清	木船今朝男

◎会長 ○副会長 (理)理事 (監)監事 敬称略

公民館長会議で推薦をいただき会長に就任しました。コロナ感染がどこまで拡がり続けるのか、先が見通せない中で、今年度の公民館活動が



梓川地区町内公民館長 内山 仁

タートしました。世の中はデジタル社会が進み、人の営みや人間関係までデジタル化されてきている中では、従来の活動を継続していく公民館活動は困難だという意見が館長

令和4年度 梓川地区町内公民館長会長 就任のあいさつ



梓川の世帯数・人口

世帯数	4,768戸
人口	12,392人
男	6,123人
女	6,269人

(令和4年5.1現在)



梓川アカデミア館探訪

「上野玄春」

「生命の輝き」

今回の梓川アカデミア館探訪では、現在開催中のコレクション展「上野玄春「生命の輝き」」展をご紹介します。

梓川アカデミア館のコレクション展では、当館に収蔵している郷土にゆかりの作家作品を、テーマに沿って紹介しています。今回の展示では、第3回でご紹介した画僧上野玄春の作品

退任のあいさつ



関原 桂子

5年間金松寺山に見守られて、勤務させていただきましたが、この度、安曇支所へ異動となりました。梓川公民館では、公民館講座や地区行事を通して貴重な体験を積むことができました。また、たくさんの方の笑顔が思い出されます。梓川地区の皆様には大変お世話になりました、ありがとうございます。

着任のあいさつ



田中 資子

4月に生涯学習課から異動となりました。この地区に友達や、親戚が多いので梓川は親しみやすく好きなお所です。先日、金松寺山の案内を見つけて登ってきました。緑の木々の間から見えた松本平の展望は忘れられません。まだまだ知らない事もありますが、よろしくお願いたします。

コレククション展

「上野玄春」

「生命の輝き」

今回の梓川アカデミア館探訪では、現在開催中のコレクション展「上野玄春「生命の輝き」」展をご紹介します。

梓川アカデミア館のコレクション展では、当館に収蔵している郷土にゆかりの作家作品を、テーマに沿って紹介しています。今回の展示では、第3回でご紹介した画僧上野玄春の作品

で構成しており、70年代に描かれた、シュールレアリスム(超現実主義)を追い求めた油彩画作品をはじめ、日蓮宗の画僧となり、日本画材を用いて生命力あふれる植物を描いた代表作の数々や、梓川へ移住してから描かれた安曇野の風景画など、当館への寄贈作品全61点の中から26点を年代順に展示しています。ぜひこの機会に上野玄春の移りゆく世界観をお楽しみいただけます。うお願いたします。



梓川アカデミア館コレクション展「上野玄春「生命の輝き」」開催中(令和4年7月3日(日)まで)午前9時〜午後5時/月曜日休館
高校生以上200円、中学生以下100円

梓川ふるさと公園

梓川ふるさと公園に入っていくと、4月は桜の季節。4月の中旬から公園のあちこちで咲き始めましたが、池の周りは日当たりの関係からか少し遅れて咲くようです。さらに遅れて八重の桜と緑色の桜が満開になり、長い間楽しむことができました。この淡い緑色の桜は、御衣黄桜(ギョイコウザクラ)というので



ミスバショウ

この時期の桜の存在感に圧倒されつつ、よく手入れのされた山の小道へと進んでいくと、ミスバショウ、カタクリ、シヨウジョウバカマの群落に出逢い、思わずしゃがみ込んでスマホを向ける人となります。ふるさと公園のあやは桜から新緑へ、やがてアジサイへと移り変わり、修景池の桜の根本に今年もアジサイたちが咲き誇ります。

梓川にすむ魚

梓川にすむ魚の中で、最近増えている魚にブラウントラウトがいます。ブラウントラウトは、外来魚(元々は日本に住んでいない魚)で、長野県では1925年ころ上高地で養殖したのが最初とされています。冷たい水が好きでサケ科の魚で、下島橋近くで産卵床が見つかるなど、梓川でも自然繁殖しているようです。河川ではそこまで大きくなりませんが、最大で1mにもなる魚で、昔からいたイワナやカジカなどを食べてしまつたため、要注意外来生物になっていきます。「鉄腕ダッシュ」というテレビ番組の「グリル厄介」というコーナーでも取り上げられていました。番組では焼きそばやお茶漬けにしています。だが、おいしい魚で、長野県が誇る「信州サーモン」の親でもあります。(信州サーモンは、ニジマスのメスとブラウントラウトのオスの交雑種) 興味がある方は、梓川に釣りにでかけてはどうでしょうか。



ブラウントラウト

梓川短歌会

梓川短歌会は合同歌集「熱佐塾」第12巻を発刊しました。代表の原照子さんは、「これからも、日々の暮らしを大切に折々の生活詠を作り、共に積み重ねていきたい。」と話していました。



梓川ふるさと公園の八重桜

- 青木国子
純白の芯美しき大山蓮華広がる空に雲流れゆく
- 青木多美子
軽トラの荷台にシート満開の桜を見上げて夫との昼餉
- 秋山寿美子
ハラハラと桜散り初む下に立つ見上げる大木義父惚ぼるる
- 岩淵軍平
梓の木川に流せし梓川梓の弓を遠く惚べり
- 上嶋治子
未練にも通りすがりを装いて生家の跡地を足早に過ぐ
- 小松あや
頑張れと私の背中押す如くカレンダーの文字太く逞し
- 長沢節子
草引けば冬眠蛙は赤子のように腕を抱いて熟睡中
- 西牧恵子
大きな夕焼け空に染まりつつ明日を委ねて鉄つきて立つ
- 原照子
蒸し上がる大豆の甘き香の懐かしく二年ぶりなる春の味噌焚き
- 平林竹子
要所ごと石積みなしし先人の知恵を思ひて山路登る
- 宮坂喜美子
山よりの土産と云へば喜こばむ子を思ひつつ栗を拾ふも
- 宮坂頼子
ひまひまに編みしひざかけ気に入りて孫は持ちゆく木曾は寒いと

雑記帳

ほのかな光を放つホタルが好きです。梓川倭の河川敷に、氷室どんぐり村としてかつてボランティアの方々で10年以上に渡り「子どもがカブトムシと遊び、ホタルが舞う憩いの広場」を目指して整備を続けられた場所があります。どんぐり林が広がり、私の子どもたちも夏になるとホタルや虫を探しに出かける場所です。かつて活動を支えていた方から電話で話を伺ったところ、以前は中学校の生徒とともに、おにホタルの幼虫を放流し、観察会もしていたそうですが、会員の高齢化に伴い4年ほど前から活動を休止しているとのこと。今もあそこで子どもたちが遊んでいることや、ホタルが飛んでいることを感謝とともにお伝えしました。会の皆様の想いが次世代に引き継がれ、ホタルが舞う場所であり続けることを祈るばかりです。ところで、ホタルはなぜか戦争と結びつく物語が多いですね。放つ光のはかなさと命のはかなさを重ね見るからでしょうか。初夏の夜にまたどんぐり村で淡い黄みどりの色のほのかな光を探しながら、今年は平和を祈りたいと思います。